



「おいしい！広島」プロジェクトの令和7年度の実施状況について

1 要旨・目的

県の多彩な食資産を多様な主体と磨き上げるとともに、その魅力を発信する「おいしい！広島」プロジェクトについて、令和7年度の実施状況を報告する。

2 現状・背景

G7広島サミットで高まったプレゼンスを追い風に、広島の「おいしい」イメージを定着させ、「ひろしまは美味しさの宝庫である」という、ひろしまブランドの強化につなげるためには、その価値・魅力をさらに高め、県内外から広く共感を獲得する必要がある。

そのため、瀬戸内さかなや広島和牛、日本酒など、県産農林水産物等を使った新たな食の魅力や価値を創り、伝える取組を、多様な主体と共に推進している。

引き続き、これらの取組を通じて、食の魅力や価値を高め、観光消費額の上昇や、県産農林水産物の消費拡大などにも波及させることで、県内の生産者、観光事業者、飲食店、小売など、県内事業者の収益力向上にもつなげる。

3 取組内容

令和7年度は、県内の多様な主体の参画による「おいしい！広島」のイメージづくりに向けた機運の高まりを生かし、本県の多彩な食資産・食文化の認知を更に高め、県内外から広く共感を獲得するため、県内PRに首都圏等でのプロモーションを加えた「価値発信」と、プロモーションをきっかけに広島を訪れる多くの方々を対象にした広島の食の魅力を体験・体感いただくための「価値づくり」を一体的に進める。

(1) 価値発信

ア 首都圏等でのプロモーションの実施

- ・著名人を応援団長に任命する記者発表会を開催しメディア露出を図る。

実施日：令和7年6月17日（火）13:00～13:55

場 所：時事通信ホール（東京都中央区銀座5-15-8）

内 容：知事ビデオメッセージ、概要説明、プロモーション動画放映、
著名人登壇（任命状サイン、トークセッション）等

- ・著名人が登場する多彩な食をテーマとするプロモーション動画を作成し、東京都内の主要駅や街頭ビジョン、SNS等で発信するなど話題化を図る。
- ・東京都内主要駅や県内主要スポットにおいてポスターを掲出するとともに、飲食店等へポスターを提供し広く展開する。

- ・抽選で広島多彩な食をめぐるツアーが当たるSNSキャンペーンの実施により話題化につなげる。(実施期間：6月17日～7月17日)
 - ・首都圏における情報発信拠点として、ひろしまブランドショップTAU等における連携フェアを展開する。(実施期間：7月1日～12月31日)
 - ・県内飲食店等との連携による特別メニュー等の提供により、来広者の食体験につなげる。
- イ 首都圏等でのプロモーションと連動した魅力ある広島の食への誘導
- ・おいしい！広島「食べんさい店」のサイトについて、「瀬戸内さかな」「広島和牛」「コウネ」「広島酒」などジャンルごとに検索しやすいサイトへ改修する。
 - ・広島県民の「行きつけの店」を紹介するコンテンツを新設するほか、新たに口コミ機能も追加し、信頼性の高いグルメサイトを目指す。
 - ・G7広島サミットを契機に実施した「EATRIP HIROSHIMA」キャンペーンをリニューアルして実施する。実施に当たっては、グルメサイトと連動し口コミの充実を図る。
- ウ メディア等を通じた発信
- ・県内外の各種メディアやSNSを通じた情報発信を行う。
- エ その他（大規模イベントと連動した取組）
- ・大阪・関西万博において、広島県の特設ブースを出展し、「美味しさの宝庫」である広島の食の魅力を発信する。(令和7年8月5日～9日)

(2) 価値づくり

ア 強固なブランドイメージを創るための新たな強みの創出に向けた取組

(ア) 瀬戸内さかなのブランド化

- ・こだわり漁師を軸としたブランド力の向上と競りを通じたバリューチェーンの構築を進めながら、四季折々の「旬の瀬戸内さかな堪能グルメフェア」の共感飲食店を50店舗まで拡大するほか、こだわり漁師や料理人との対話を楽しみながら会食できる食の体験会などを通して「コアなファンづくり」にも取り組むことで価値発信の向上を目指す。
- ・夏の瀬戸内さかな堪能グルメフェア（令和7年7月1日～8月31日）

(イ) 瀬戸内さかなと日本酒のペアリング推進

- ・瀬戸内さかなと日本酒のペアリングを、広島ならではの食の楽しみ方として県民や観光客に伝えるため、モデル店舗においてペアリングの実証を行い、課題などを抽出する。
- ・蔵元や飲食店を対象にしたセミナーを開催するとともに、実証を踏まえて有効な販促資材を作成し、ペアリング提供店の拡大を図る。

イ 食の多様性の創出に向けた取組

(ア) 県内の盛り上がりを創出する取組

- ・令和6年度に実施したFoodrinpic Hiroshima の取組を発展させ、地域の魅力ある食を発掘し、応援する取組を実施する。
- ・食材や食文化だけでなく、魅力を語る人とセットでエントリーいただき、インパクトのあるビジュアルで発信することで県内全体の盛り上がりにつなげる。

(イ) 広島和牛のブランド化

- ・県内高級飲食店でのフェアやメディア向けイベントを開催する。
- ・流通の円滑化に向けた、流通課題部位のメニュー開発や高付加価値商品を開発する。

(ウ) コウネの認知向上

- ・コウネ提供店の確保と特設サイトによる情報発信を行う。
- ・コウネ体験イベントの開催や各種食イベントへ出展する。

ウ 食を支える人たちを応援する取組

(ア) 料理人を応援

- ・食の魅力向上に向け、例年実施している料理人コンクールに加え、新たに、将来の料理人育成のための小中学生を対象とした体験講座や、「食文化アカデミー」として、料理人が広島の食に関して、テーマ（広島の水や伝統野菜等）ごとにより深く学ぶことができる機会を創出する。

(イ) 生産者を応援

- ・チア！ひろしま（広島県産応援登録制度）の審査会を年4回、定期的で開催するとともに、専用ホームページによる情報発信や商談会の開催、販売アドバイザーの設置等による生産者等の販売力の強化を支援することにより、魅力ある農林水産物の販路拡大や消費拡大を図る。

エ 食を学び楽しむ人たちを応援する取組

(ア) 学校給食を活用した取組

- ・「ひろしま給食100万食プロジェクト」と連携し、学校給食の機会を活用して県産食材を活用した給食献立の提供日に合わせて動画を配信するなど、幼少期から県内産農産物の魅力を十分に理解いただく取組を進める。

(イ) 企業、団体との連携（共創企画）

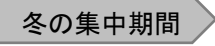
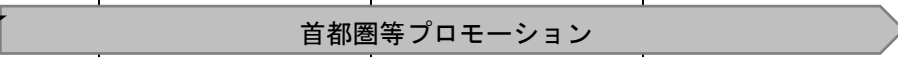
- ・包括的連携協定締結企業等を中心に広島の食を取り上げた連携企画を実施する。

3 予算

- おいしい！広島推進事業 262,389 千円
- その他関連事業
 - ・瀬戸内さかなブランド化推進事業
 - ・広島和牛ブランド構築事業
 - ・ひろしまの食の魅力向上事業 等

4 取組スケジュール

記者発表会后、生産者や観光事業者、飲食店など、県内の食に関わる事業者・団体等、多様な主体と、広島の「おいしい」を共に創る様々な企画やPR、プロモーションを、集中的に展開する。

時 期	6 月	7 ～ 9 月	10～12 月	1 ～ 3 月
取 組	 6/17 記者発表会	 夏の集中期間	 秋の集中期間	 冬の集中期間
	 首都圏等プロモーション			

5 その他

今後、「おいしい！広島」プロジェクトに関連する情報については、県ホームページのほか、首都圏等プロモーション特設サイト（令和7年6月17日開設 <https://ok-hiroshima.jp/>）、おいしい！広島公式ホームページ（<https://oishii.hiroshimakensan.org/real-gourmet/premium>）にて、随時情報を掲載する。